

にいほま 環境かわら版

2022年秋

第15号

カーボンニュートラル推進室

電話 65-1284

お待たせしました！ 環境かわら版第15号です。朝晩すっかり涼しくなりましたね。6月に40℃を超えたり、過去4番目に中心気圧が低い台風14号が上陸したりと、心配した夏も今年は大きな被害もなくようやく終わりました。

しかし、世界に目を向ければ、パキスタンでは、降水量の増大や氷河の融解による洪水により、国土の1/3が水没しました。地球温暖化が原因であることは明らかで、世界全体の温室効果ガス排出量1%未満の国（日本は3.2%で世界第5位）が、このような被害に遭うことは理不尽ですよ。私たちに何ができるのか一緒に考えていきましょう。それでは今月号ご覧ください。

垣生海岸でプラごみ清掃実施します！

ところで皆さんは海洋プラスチック問題をご存知ですか？ 現在、海には既に1億5千万トンものプラスチックごみがあり、今も毎年800トンものプラスチックごみが流れ込んでいます。このままだと、2050年には、海にいる魚以上に増えると予測されています。プラスチックは分解されるまでに1,000年以上かかるとも言われており、このプラスチックごみに絡まったり、誤って摂取することで、絶滅危惧種を含む700種もの生物が傷つけられたり、死んでいます。

そこで、新居浜市地球高温化対策地域協議会では、11月12日（土）10時から、垣生海岸においてプラごみ清掃を実施します。清掃場所、集合場所は、次ページのとおりです。また、正起ガスさんのご厚意により臨時駐車場を設けております（できるだけ乗り合わせでお願いします）。協議会の会員でなくても、どなたでも参加していただいても構いません。参加者には、エコバックとあかがねポイント100ポイントを差し上げますので、皆さんもぜひ参加してみませんか？ みんなの力で、かけがえのないきれいな海を取り戻しましょう。

詳しくは、カーボンニュートラル推進室までお問い合わせいただくとともに、参加される場合には、事前に代表者の氏名、連絡先、参加人数をお知らせください。

[垣生海岸付近地図]



マイボトル等持参推進キャンペーン実施中！

海洋プラスチックの問題はご理解いただけましたか？ ポイ捨てをしない、リサイクルを徹底（日本では8万トン以上のペットボトルが未回収で、川や海に流されたものも多い）するといったことも大事ですが、普段の生活において、プラスチックをできるだけ使わないということも大切です。

日本は、人口一人当たりのプラスチック容器包装の廃棄量が世界で2番目に多い国です。持続可能な社会をつかっていくためには、物を大切に使い、ごみを減らす「リデュース」と、物を繰り返し大切に使う「リユース」を常に意識し、私たち一人ひとりが毎日の暮らしの中で、プラスチックごみを減らす取り組みをしていくことが大切です。

新居浜市地球高温化対策地域協議会では、これまでマイバッグ持参推進キャンペーン（マイバッグ持参で買い物し、レジ袋を使わない）を実施してきましたが、今年度からは、マイボトル等持参推進キャンペーンも実施しています。普段からマイボトルを持ち歩き、ペットボトル飲料水を買わない、マイスプーンを持ち歩き、コンビニ等でのプラスチックスプーンの提供を断る等です。

皆さん一人ひとりが、ほんの少し行動を変える、ほんの少し意識を変えるだけで、この地球を救うことにつながります。さあ、あなたも明日から、マイボトル！持っていきませんか？

[マイボトル等持参推進キャンペーンチラシ]

みんなで持ち歩こう！ マイボトル！

新居浜市マイボトル・マイカップ・マイスプーン持参推進キャンペーン



マイボトル
マイカップ
マイスプーン
を持参して、
ごみを減らそう!!

使い捨てプラスチックは、自然環境中で破砕・細分化され、5mm以下のマイクロプラスチックになることがあり、生態系や私たちの食生活への影響も指摘されています。

マイボトル等の利用による使い捨てごみの削減は、私たちがすぐに実行できる身近で効果的な環境保全活動です。



新居浜市地球高温化対策地域協議会事務局
新居浜市市民環境部環境エネルギー局カーボンニュートラル推進室

【編集後記】

コロナ感染者数もようやく少し落ち着き、約3か月ぶりに道場（空手の稽古）に行ってきました。って、これで3度目の復帰ですが、年を取るとそのたびに体力の衰えを痛感させられます（マスクしたままの稽古もつらいです）。気づけば、磯野波平の年齢超えちゃってるもんな～。そろそろ引き際を考えないと。。。。。

(K)